

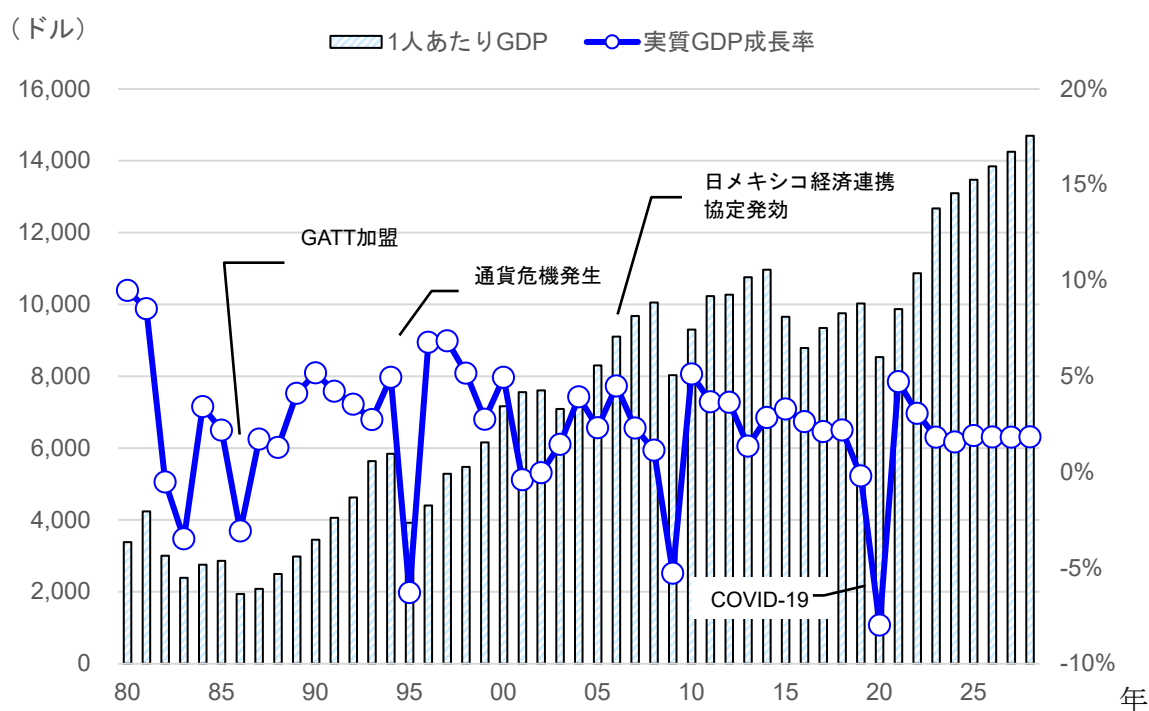
第3章 経済概況

1. 経済概観

(1) メキシコ経済の歩み（1980～2000年）

メキシコは、1980年代後半以降、石油への過度な依存をした従来の輸出構造を転換し、工業製品を中心とした輸出国となった。そして、米国の景気拡大を受けて、メキシコの輸出は高い伸長が持続した。その後、事実上のドル固定相場制や経常収支の恒常的な赤字等を背景に、1994年12月に発生した通貨危機により、外貨準備が枯渇し、通貨ペソが暴落した。翌1995年には深刻な景気後退となりマイナス成長を記録したものの、その後、通貨安による輸出競争力の回復や、米国の景気拡大、国際石油価格の高騰、新興諸国への資金流入の活発化に支えられて、メキシコ経済は順調に回復軌道をたどってきた。

図表 3-1 実質経済成長率と1人あたりGDPの推移



(注) 2022年以降のGDP成長率、2020年以降の一人あたりGDPの値は推計値である。

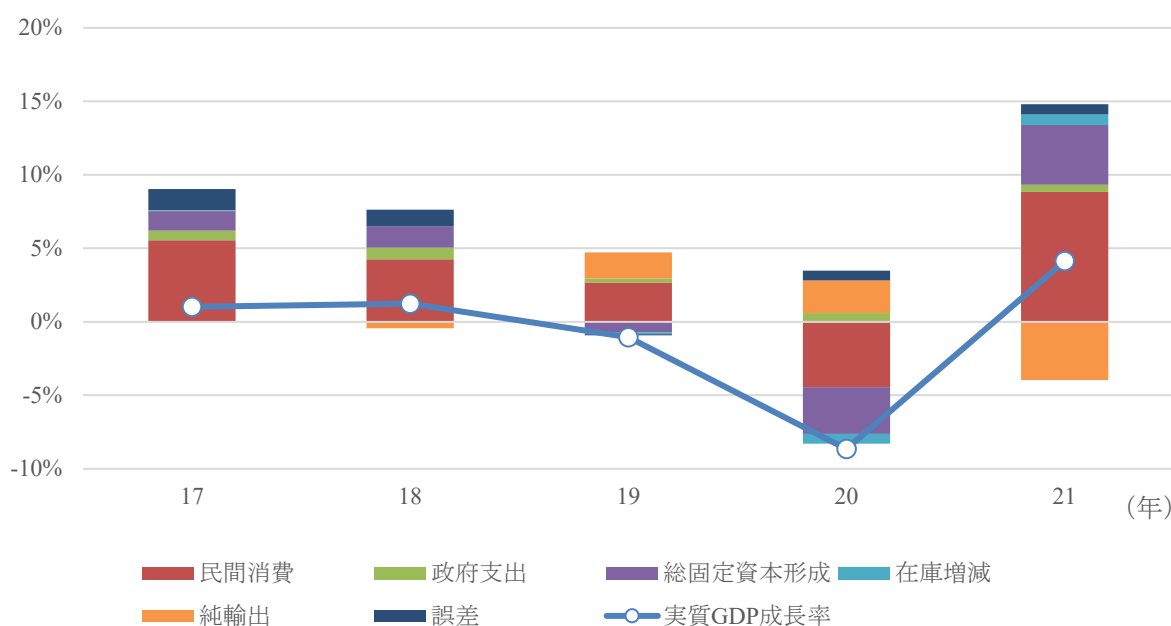
(出所) IMF データベースより作成

(2) 2000 年以降のメキシコ経済

2000 年代に入ってからメキシコ経済は、米国向け工業製品の輸出拡大や、原油価格高騰による原油輸出額の増加（輸出量は 2004 年以降減少）、インフレ収束と金利低下による個人消費の活発化、金融、建設、電話サービスの拡大等により順調に上昇してきた。しかし、2006 年の実質経済成長率 4.9%をピークに、米国市場の低迷を受けた自動車輸出の不振等により、2007 年は 3.2%へ低下し、米国の金融危機を契機とした世界経済停滞により、工業製品輸出が減少へ転じ、2008 年の成長率は 1.2%まで落ち込んだ。

2009 年秋口以降、ようやく自動車産業等の輸出製造業が回復に転じ、他産業の景気も底を打った。2010 年～2012 年は、好調な外需を受けて景気回復が進んだ。失業率の高止まりや、実質賃金の低迷等による個人消費の伸び悩みで、内需の回復は遅れたものの、輸出の回復により、2010 年の成長率は 5.1%と大きく回復した。

図表 3-2 実質 GDP 成長率と要因分解



(注) 2019 年を基準としている (2020、2021 年は暫定値)

(出所) OECD.Stat、WB より作成

2017 年から 2021 年までの成長率は新型コロナウイルスの影響を受けながら、年ごとに▲9～4%台で推移している。メキシコ経済は新興国の中でも輸出依存が高く、最大の輸出依存先である米国との貿易の状況が大きく影響する。2019 年と 2020 年は国内需要が低減したことで純輸出額が黒字となっている。

2021 年の実質 GDP 成長率は 4%と、民間消費が増加したことで新型コロナウイルスの影響から回復したことが分かる。また、図表 3-3 によると、主に貿易赤字を主因とする経常赤字は、2020 年を除き長年続いている状態であり、2022 年は貿易収支が▲264 億ドル、経常収支が▲134 億ドルとなっている。

図表 3-3 主要経済指標

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
名目 GDP	億ドル	12,744	13,154	11,719	10,785	11,589	12,224	12,690	10,905	12,728	14,142
1人あたり GDP	ドル	10,866	11,076	9,753	8,875	9,434	9,857	10,145	8,655	10,046	11,091
実質 GDP 成長率	%	0.0%	1.6%	2.1%	1.5%	1.0%	1.2%	-1.1%	-8.7%	4.1%	2.4%
人口	万人	11,729	11,876	12,015	12,152	12,284	12,401	12,509	12,600	12,671	12,750
消費者物価上昇率	%	3.8%	4.0%	2.7%	2.8%	6.0%	4.9%	3.6%	3.4%	5.7%	7.9%
輸出額	億ドル	3,799	3,969	3,805	3,739	4,095	4,505	4,607	4,181	4,942	5,782
輸入額	億ドル	3,812	4,000	3,952	3,871	4,204	4,643	4,553	3,833	5,057	6,046
貿易収支	億ドル	-13	-31	-147	-132	-109	-137	54	348	-115	-264
経常収支	億ドル	-324	-257	-323	-258	-220	-261	-56	228	-82	-134
直接投資流入額	億ドル	509	284	362	389	331	379	299	315	335	389
外貨準備高	億ドル	1802.0	1956.8	1776.0	1779.7	1754.7	1763.9	1830.6	1990.7	2078.0	2011.2
為替レート (年平均)	ペソ/ドル	12.77	13.29	15.85	18.66	18.93	19.24	19.26	21.49	19.26	21.49

(出所) IMF、WB、UNCTAD Stat より作成

(3) 経済政策

メキシコでは憲法によって、大統領は就任後半年以内に任期中の開発計画を策定し、国民に発表することが規定されている。

2012年12月に就任したペニャ・ニエト大統領は、2013年5月に「2013～2018年国家開発計画 (PND2013)」を発表し、政策の5本の柱として、①治安回復、②貧困撲滅・格差是正、③教育拡充、④経済的繁栄、⑤国際社会への貢献を掲げた。2014年4月には、②貧困撲滅・格差是正と④経済的繁栄に関連して、6つの戦略部門におけるインフラ整備を中心とした、総投資額7兆7,505億ペソ (743プロジェクト) の「2014～2018年 国家インフラ計画 (PNI2014)」を発表した。

2018年7月に大統領選挙で当選したロペス・オブラドール氏は、国家開発計画 (PND) 2019～2024を策定して、「包括的な開発を達成するための変革」を全体目標とし、(1) 正義と法の支配、(2) 福祉、(3) 経済開発、の3本の柱と、それらを共通に貫く (a) 性の平等・無差別・包摂、(b) 腐敗撲滅と行政の改善、(c) 国土開発及び環境保全、の3つの軸を設定している⁴。

2020年10月には、官民合同のインフラ投資計画を掲げ、通信、空港、エネルギー、鉄道関連のインフラ整備に取り組むことを発表した。同年11月には第二弾のインフラ投資計画が発表され、(1) 民間部門が投資総額の50%以上を負担すること、(2) 対象分野の設定、(3) 利益・影響評価・コスト・期間の明確化、(4) 公債に影響しないこと、の4点の基準を踏まえ、合計29件のプロジェクトが選定された。

⁴ <https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/07/55e6b119b979f859.html>

2021年以降は、エネルギー分野の国営企業優先政策に向けた動きに注目が集まっている。ロペス・オブラドール大統領は、2021年3月に電力産業法を改定し、電力公社（CFE）を民間企業より優遇することを規定した。さらに、2021年10月には電力分野における国の権限を強化する憲法改正案が提出されたが、これは野党の反対により否決された。既存の電力分野の民間企業の許認可が政府により取り消されたことや、メキシコ国営石油公社（PEMEX）を優遇する措置を講じたこと等を問題視する米国は、メキシコのエネルギー政策がUSMCAに違反するとして協議を継続している。

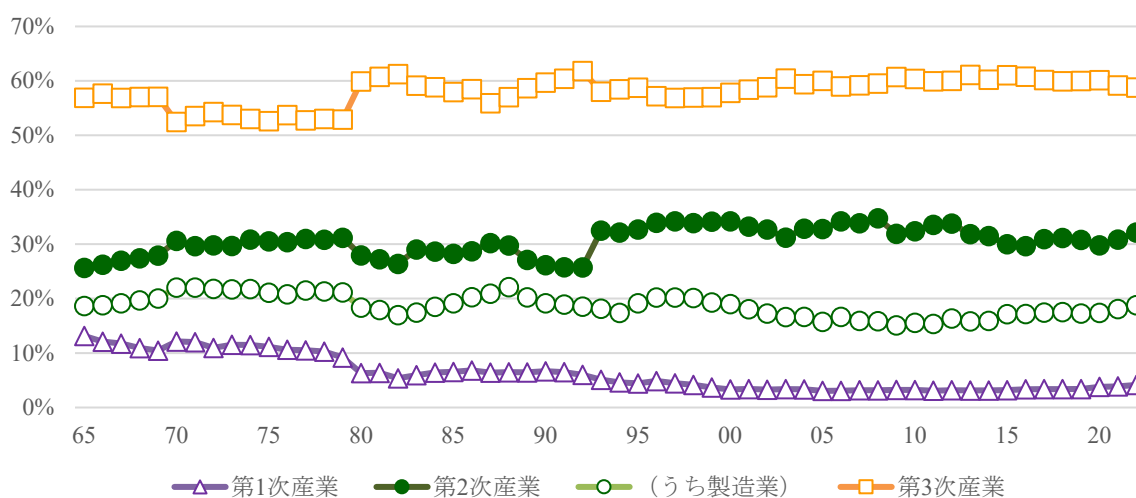
2. 産業構造

メキシコは、豊かな天然資源に恵まれ、産業が多岐にわたり発達している。約196万km²の国土に石油、金、銀、銅、亜鉛等の豊富な鉱物資源を有し、特に石油は、100年を超える開発の歴史を持つ主要輸出産品の一つとなっている。

製造業については長年にわたって国内産業の保護・育成政策が採られてきたが、1980年代半ば以降、保護・育成政策が見直され、輸入の自由化や外資規制の緩和等が進められている。国際競争力も徐々に高まり、1994年の北米自由貿易協定（NAFTA）発効に伴って、低廉で質の高い労働力を利用した米国への輸出拠点として、先進諸国からの投資が増えてきた。依然として多くの中間財や資本財を輸入せざるを得ないものの、自動車産業、電気・電子産業、航空宇宙産業等では、最終組立業者の進出に伴って裾野産業も徐々に育ち、部品・原材料の国内調達比率が高まっている。NAFTA域内の米国とカナダに加え、アジアや中南米の新興国への輸出も好調に推移し、メキシコの輸出全体に占める工業製品は1990年代後半に80%に達した。

1965年から2022年までのGDPに占める産業構成比を見ると、1960年代から80年代にかけて、第一次産業の割合が逡減し第二次産業の占める割合が逡増している。1980年代後半以降、第一次産業の割合が一層減少する一方で、第三次産業の占める割合は依然として高い水準を保ち、2022年において約6割を占めている。

図表 3-4 第1～3次産業のGDP構成比の推移



(出所) World Bank より作成

2012年と2022年の産業別GDPの構成比の変動を見ると、第三次産業（▲1.2%）から第一次産業（+1.1%）へのシフトが窺える。この10年で、第二次産業では鉱業（▲3.4%）が減少し、製造業（+3.2%）の構成比が増加しており、鉱業から製造業へのシフトが顕著に表れている。第三次産業では卸売業（+1.2%）、小売業（+0.9%）の構成比が拡大した。

図表 3-5 産業別 GDP（名目）の構成比

(金額：10億ペソ)	名目 GDP			構成比		
	2012	2022	(年率)	2012	2022	(差分)
全体	16,047	28,084	5.8%	100.0%	100.0%	-
第一次産業	504	1,190	9.0%	3.1%	4.2%	1.1%
農業	324	793	9.4%	2.0%	2.8%	0.8%
畜産業	154	347	8.5%	1.0%	1.2%	0.3%
森林	18	32	5.9%	0.1%	0.1%	0.0%
漁業、狩猟	5	11	9.2%	0.0%	0.0%	0.0%
農林業関連サービス	4	8	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
第二次産業	5,636	9,899	5.8%	35.1%	35.2%	-0.9%
鉱業	1,289	1,290	0.0%	8.0%	4.6%	-3.4%
公益業	215	474	8.2%	1.3%	1.7%	0.3%
建設業	1,025	1,801	5.8%	6.4%	6.4%	0.0%
製造業	3,107	6,334	7.4%	19.4%	22.6%	3.2%
第三次産業	9,907	16,995	5.5%	61.7%	60.5%	-1.2%
卸売業	1,449	2,886	7.1%	9.0%	10.3%	1.2%
小売業	1,481	2,843	6.7%	9.2%	10.1%	0.9%
運輸、郵便、倉庫	1,078	2,039	6.6%	6.7%	7.3%	0.5%
情報、通信	327	468	3.7%	2.0%	1.7%	-0.4%
金融、保険	487	1,033	7.8%	3.0%	3.7%	0.6%
不動産	1,657	2,506	4.2%	10.3%	8.9%	-1.4%
専門、科学、技術、サービス	324	546	5.4%	2.0%	1.9%	-0.1%
事業支援サービス、廃棄物・廃棄物管理、修復サービス	554	316	-5.5%	3.5%	1.1%	-2.3%
教育	644	1,028	4.8%	4.0%	3.7%	-0.4%
保健衛生、社会保障	361	753	7.6%	2.2%	2.7%	0.4%
宿泊施設、フードサービス	386	689	6.0%	2.4%	2.5%	0.0%
その他	1,160	1,889	5.0%	7.2%	6.7%	-0.5%

(出所) INEGI より作成

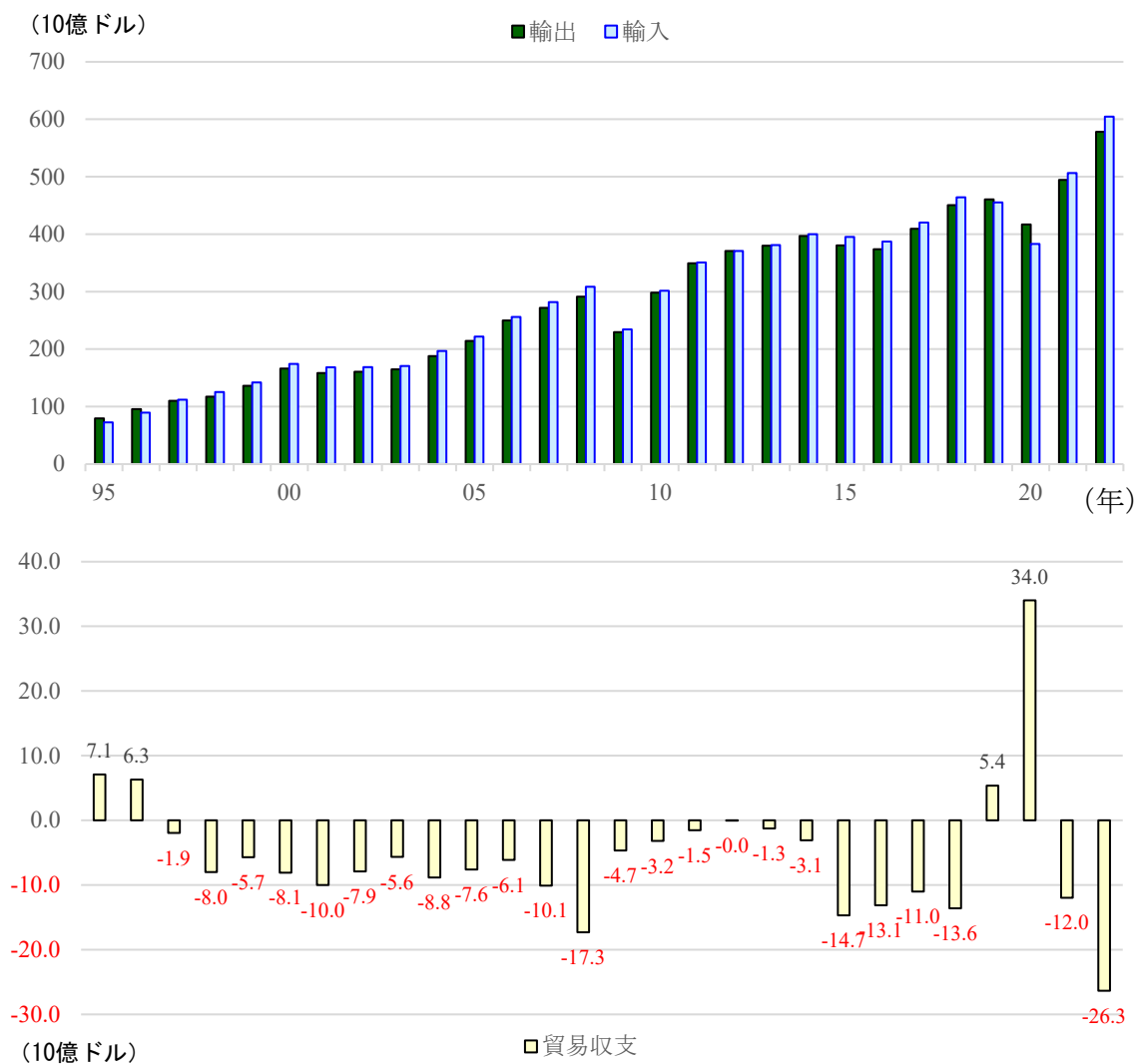
3. 貿易構造

(1) 輸出・輸入・貿易収支の推移

1994年1月には、米国及びカナダとの間でNAFTAが発効され、メキシコの対米輸出拠点としての重要性が一段と高まった。もっとも、安価な労働力を利用した最終製品の組立型産業が中心であり、多くの原材料や部品等を輸入に依存したことから、輸出の拡大に伴って輸入も拡大し、貿易赤字が拡大するという構造的な問題が生じるようになった。

メキシコでは1998年以降貿易赤字が続いている。特に2008年には▲173億ドルまで膨らんでおり、その後一時的に赤字幅は縮小したものの、2019年と2020年に新型コロナウイルスが原因で国内需要が減少し黒字化した期間を除き、2015年以降は再び赤字幅が拡大している。

図表 3-6 輸出・輸入と貿易収支の推移



(出所) UNCTAD Stat より作成

(2) 品目別輸出・輸入の動向

UNCTAD（国際連合貿易開発会議）の統計によると、メキシコの2022年の輸出額は5,783億ドルであり、セグメント別に見た主な輸出分野は自動車・バイク等を含む「機械類・輸送用機器」の構成比が55.1%を占めている。次いで「雑製品」（同8.8%）、「素材製造品（皮革、紙、鉄鋼等）」（同6.8%）の輸出額が多く、これら3分野で全体の約7割を占めている。

図表 3-7 主要輸出品目

(100万ドル/暦年)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
輸出総額	370,707	379,949	396,890	380,556	373,954	409,396	450,684	460,604	416,982	494,596	578,282
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
食料品・動物	17,375	19,540	19,467	20,773	22,714	25,023	25,821	27,674	28,470	30,324	33,679
	(4.7%)	(5.1%)	(4.9%)	(5.5%)	(6.1%)	(6.1%)	(5.7%)	(6.0%)	(6.8%)	(6.1%)	(5.8%)
飲料・たばこ	3,732	3,980	4,207	4,193	4,490	5,628	6,444	7,156	7,807	9,351	10,872
	(1.0%)	(1.0%)	(1.1%)	(1.1%)	(1.2%)	(1.4%)	(1.4%)	(1.6%)	(1.9%)	(1.9%)	(1.9%)
食料に適さない原材料	8,098	7,651	5,854	4,738	5,323	6,174	7,349	7,208	8,726	8,360	8,160
	(2.2%)	(2.0%)	(1.5%)	(1.2%)	(1.4%)	(1.5%)	(1.6%)	(1.6%)	(2.1%)	(1.7%)	(1.4%)
鉱物性燃料等	52,164	48,680	41,313	22,418	18,033	22,546	29,571	24,511	16,023	27,395	37,694
	(14.1%)	(12.8%)	(10.4%)	(5.9%)	(4.8%)	(5.5%)	(6.6%)	(5.3%)	(3.8%)	(5.5%)	(6.5%)
動植物性油脂	201	189	132	115	142	200	240	235	333	296	386
	(0.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.1%)
化学製品	15,396	15,590	13,659	12,752	12,142	12,655	13,599	13,107	12,785	14,211	16,389
	(4.2%)	(4.1%)	(3.4%)	(3.4%)	(3.2%)	(3.1%)	(3.0%)	(2.8%)	(3.1%)	(2.9%)	(2.8%)
素材製造品（皮革、紙、鉄鋼等）	28,193	28,289	26,501	24,908	24,325	26,293	28,905	28,912	27,807	34,294	39,410
	(7.6%)	(7.4%)	(6.7%)	(6.5%)	(6.5%)	(6.4%)	(6.4%)	(6.3%)	(6.7%)	(6.9%)	(6.8%)
機械類・輸送用機器	201,579	212,573	228,957	233,295	226,059	250,839	272,273	285,005	252,669	284,067	318,647
	(54.4%)	(55.9%)	(57.7%)	(61.3%)	(60.5%)	(61.3%)	(60.4%)	(61.9%)	(60.6%)	(57.4%)	(55.1%)
事務用機器・コンピュータ	21,069	19,746	23,063	20,990	22,715	25,224	31,238	34,830	34,296	37,949	46,333
通信・音響機器	39,544	40,298	38,571	38,667	35,397	38,644	35,633	32,047	29,706	30,630	34,364
電気機器	35,168	38,006	41,145	42,567	41,558	42,514	46,174	47,731	45,628	53,571	59,240
自動車・バイク等	69,875	76,718	84,621	89,212	87,312	100,673	113,961	119,886	99,741	111,721	122,990
雑製品	31,488	34,147	37,294	38,474	39,506	41,424	42,966	43,273	39,512	46,319	50,643
	(8.5%)	(9.0%)	(9.4%)	(10.1%)	(10.6%)	(10.1%)	(9.5%)	(9.4%)	(9.5%)	(9.4%)	(8.8%)
家具・部品	5,802	6,472	7,426	7,471	7,689	8,009	7,991	7,943	6,892	8,654	10,257
衣類・同附属品	4,449	4,530	4,592	4,435	4,235	4,068	4,215	4,231	3,530	4,567	5,444
業務用機器・医療用機器	10,266	11,307	12,496	13,183	14,055	15,117	16,200	16,759	15,731	16,548	18,331
その他の雑製品	7,697	8,230	8,754	9,145	9,157	9,711	9,885	9,814	9,138	11,489	12,878
その他	12,482	9,311	18,559	17,824	20,422	17,838	22,505	22,429	21,880	37,269	58,530
	(3.4%)	(2.5%)	(4.7%)	(4.7%)	(5.5%)	(4.4%)	(5.0%)	(4.9%)	(5.2%)	(7.5%)	(10.1%)

(出所) UNCTAD Stat より作成

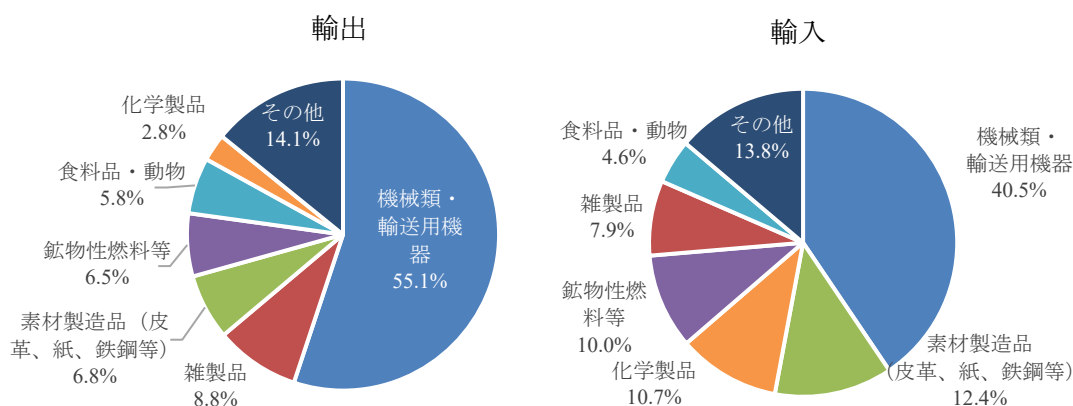
さらに、メキシコの2022年の輸入額は6,046億ドルとなっており、セグメント別では輸出同様に「機械類・輸送用機器」の構成比が最も大きく、輸入全体の40.5%を占めている。次いで、「素材製造品（皮革・紙・鉄鋼等）」（同12.4%）、「化学製品」（同10.7%）が続いている。2012年以降、上位3分野の顔ぶれは変わっていない。

図表 3-8 主要輸入品目

(100万ドル/暦年)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
輸入総額	370,751	381,210	399,984	395,254	387,087	420,395	464,294	455,236	382,980	506,565	604,615
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
食料品・動物	18,238	19,240	19,521	17,746	17,826	18,919	19,960	20,619	19,080	24,508	28,030
	(4.9%)	(5.0%)	(4.9%)	(4.5%)	(4.6%)	(4.5%)	(4.3%)	(4.5%)	(5.0%)	(4.8%)	(4.6%)
飲料・たばこ	982	1,086	984	1,096	1,024	1,011	1,065	974	702	778	980
	(0.3%)	(0.3%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)
食料に適さない原材料	8,700	9,308	8,590	7,765	7,314	8,034	9,759	8,509	9,214	10,892	12,645
	(2.3%)	(2.4%)	(2.1%)	(2.0%)	(1.9%)	(1.9%)	(2.1%)	(1.9%)	(2.4%)	(2.2%)	(2.1%)
鉱物性燃料等	33,333	32,897	29,928	25,000	23,727	34,307	45,256	39,692	24,789	42,305	60,375
	(9.0%)	(8.6%)	(7.5%)	(6.3%)	(6.1%)	(8.2%)	(9.7%)	(8.7%)	(6.5%)	(8.4%)	(10.0%)
石油・同製品	28,255	26,348	24,069	20,379	18,404	25,040	34,301	30,622	17,778	25,962	43,193
天然ガス・製造ガス	3,852	5,569	5,275	4,193	4,997	7,995	9,585	7,797	6,668	15,769	16,572
動植物性油脂	1,496	1,566	1,418	1,079	1,280	1,135	1,121	1,140	1,263	1,687	1,915
	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.3%)	(0.3%)
化学製品	41,780	43,120	44,476	41,852	40,185	43,209	47,972	46,057	43,425	56,509	64,828
	(11.3%)	(11.3%)	(11.1%)	(10.6%)	(10.4%)	(10.3%)	(10.3%)	(10.1%)	(11.3%)	(11.2%)	(10.7%)
有機化合物	9,498	9,805	9,774	7,696	6,927	8,212	9,019	7,914	7,178	9,884	12,335
医薬品	5,478	5,545	5,244	5,066	4,479	4,575	5,146	5,021	5,376	5,992	6,318
プラスチック（成型前）	8,407	8,835	9,490	9,024	8,758	9,175	10,336	9,377	8,230	13,036	14,031
プラスチック製品（一次形態でないもの）	5,268	5,524	5,948	6,131	6,124	6,355	6,880	6,857	6,223	7,664	8,523
その他の化学製品	5,152	5,517	5,764	5,519	5,479	5,692	6,342	6,718	6,726	8,787	9,976
素材製造品（皮革、紙、鉄鋼等）	52,212	51,294	53,786	53,827	51,028	55,516	59,665	57,580	48,287	64,595	75,015
	(14.1%)	(13.5%)	(13.4%)	(13.6%)	(13.2%)	(13.2%)	(12.9%)	(12.6%)	(12.6%)	(12.8%)	(12.4%)
ゴム製品	5,464	5,575	6,003	5,926	5,493	6,127	6,255	6,107	4,993	6,454	7,513
織物用糸・繊維製品	6,003	6,180	6,328	6,430	6,147	6,229	6,507	6,126	5,232	6,034	6,483
鉄鋼	11,813	10,462	10,997	10,735	9,528	11,378	11,734	11,404	9,279	13,993	17,499
非鉄金属	7,423	6,742	6,921	6,865	6,667	7,763	9,169	8,731	7,455	11,260	12,790
金属製品	12,240	12,730	13,355	13,721	13,391	13,907	15,118	14,723	12,522	15,877	18,140
機械類・輸送用機器	172,149	180,881	186,565	190,358	188,171	196,580	213,831	213,385	178,803	216,670	245,164
	(46.4%)	(47.4%)	(46.6%)	(48.2%)	(48.6%)	(46.8%)	(46.1%)	(46.9%)	(46.7%)	(42.8%)	(40.5%)
原動機	15,534	14,832	15,906	16,753	16,359	18,373	23,012	22,465	16,950	19,435	21,800
その他産業機械・部品	21,682	22,707	24,260	25,187	24,621	26,726	27,778	26,898	23,260	27,943	33,168
事務用機器・コンピュータ	16,771	16,924	17,232	17,444	18,089	17,373	20,770	21,629	20,618	30,256	28,086
通信・音響機器	29,368	30,782	29,422	27,925	25,643	23,677	24,102	23,326	19,895	16,619	42,262
電気機器	43,254	48,387	50,636	52,177	52,952	55,333	60,986	63,318	56,247	72,195	57,311
自動車・バイク等	32,140	33,185	34,857	36,058	36,073	39,964	41,586	41,438	31,355	37,327	46,141
雑製品	31,251	33,091	35,151	37,745	36,845	38,628	40,742	41,303	37,268	44,963	47,642
	(8.4%)	(8.7%)	(8.8%)	(9.5%)	(9.5%)	(9.2%)	(8.8%)	(9.1%)	(9.7%)	(8.9%)	(7.9%)
その他	10,613	8,726	18,936	18,052	18,765	22,332	24,079	25,015	19,413	40,819	62,757
	(2.9%)	(2.3%)	(4.7%)	(4.6%)	(4.8%)	(5.3%)	(5.2%)	(5.5%)	(5.1%)	(8.1%)	(10.4%)

(出所) UNCTAD Stat より作成

図表 3-9 輸出品目と輸入品目の構成（2022年）



(出所) UNCTAD Stat より作成

(3) 輸出入の国別動向

2012年から2022年にかけて10年間の国別シェアを見ると、輸出、輸入ともに、一貫して米国が最大の輸出先国、輸入元国となっていることが特徴として挙げられる。図表3-10では、2017年から2022年の輸出の増減額を、メキシコの主要輸出先国毎に表している。これによると、米国向け輸出が増加した主因は、鉱物性燃料等の「石油・同製品」の落ち込みが見られる中で、「機械類・輸送用機器」として自動車・バイク等や電気機器、及び事務用機器・コンピュータが著しく増加したことであると言える。

図表 3-10 品目別輸出増加額（対主要輸出国・地域：2017年→2022年）

(分野、億ドル)	米国	カナダ	中国	ドイツ	ブラジル	小計	全体
全体	1,253.9	41.0	41.1	12.7	7.9	1,356.7	1,688.9
食料品・動物	7.7	2.1	1.2	0.0	0.0	10.9	86.6
鉱物性燃料等	-64.7	-8.1	-3.8	-0.3	-0.8	-77.7	151.5
石油・同製品	-65.0	-8.1	-3.8	-0.3	-0.8	-78.0	150.0
機械類・輸送用機器	646.1	41.6	22.2	10.4	1.6	721.9	678.1
その他産業機械・部品	83.1	0.8	1.5	0.3	0.4	86.1	211.1
事務用機器・コンピュータ	205.4	1.8	-0.4	-1.3	1.1	206.4	-42.8
電気機器	160.7	1.3	6.1	-1.1	0.2	167.1	167.3
自動車・バイク等	194.7	12.8	18.5	14.2	-0.7	239.5	223.2
雑製品	91.4	0.5	1.0	-0.7	-0.7	91.6	92.2
業務用機器・医療用機器	34.2	-0.5	0.0	-0.2	-0.1	33.4	32.1

(出所) UNCTAD Stat より作成

次の図表3-11は、2017年から2022年にかけて輸入額の変動が大きかった品目の変動額を、輸入総額に占める比率が高かった国との間で比較したものである。これによると、米国から石油・同製品等を含んだ鉱物性燃料等の輸入増加(+259億ドル)と、化学製品の増加(+116億ドル)が大きく影響したことが分かる。他方で、自動車・バイク等や電気機器をはじめとした機械類・輸送用機器の中国からの輸入が増加(+162億ドル)したことが全体の輸入額を押し上げている。

図表 3-11 品目別輸入増加額（対主要輸入国・地域：2017年→2022年）

(分野、億ドル)	米国	中国	日本	ドイツ	韓国	小計	全体
全体	704.5	445.4	1.0	20.3	66.7	1,237.9	1,842.2
食料品・動物	77.6	2.3	0.0	0.1	-0.2	79.8	0.0
鉱物性燃料等	258.7	0.6	1.7	0.2	0.8	262.0	91.1
石油・同製品	171.2	2.6	1.7	0.2	0.8	176.4	0.0
化学製品	116.4	3.5	1.7	5.8	6.9	134.4	-0.3
素材製造品（皮革、紙、鉄鋼等）	50.8	82.1	-0.7	6.6	4.2	142.9	-0.0
機械類・輸送用機器	73.1	161.9	-9.8	-0.3	51.3	276.1	46.1
雑製品	14.0	26.5	-5.6	3.1	11.3	49.2	0.0

(出所) UNCTAD Stat より作成

2022年の主な輸出相手国・地域は、①米国（構成比：78.3%）、②カナダ（同2.7%）、③中国（同1.9%）、④ドイツ（同1.4%）、⑤日本（同0.8%）である。2012年から2022年において、ASEAN諸国全体への輸出構成比は、0.3%から0.7%の間を推移しており、EU諸国への輸出構成比は5.9%から3.1%へと減少している。

図表 3-12 主要輸出相手国・地域

(単位：100万ドル/暦年)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
輸出	370,707 100.0%	379,949 100.0%	396,890 100.0%	380,556 100.0%	373,954 100.0%	409,396 100.0%	450,684 100.0%	460,604 100.0%	416,982 100.0%	494,596 100.0%	578,282 100.0%	
先進国	日本	2,611 0.7%	2,220 0.6%	2,605 0.7%	3,013 0.8%	3,768 1.0%	4,025 1.0%	3,852 0.9%	3,938 0.9%	3,623 0.9%	3,977 0.8%	4,354 0.8%
	韓国	1,727 0.5%	1,525 0.4%	2,026 0.5%	2,814 0.7%	2,505 0.7%	3,421 0.8%	3,726 0.8%	2,212 0.5%	3,430 0.8%	3,308 0.7%	3,691 0.6%
	米国	288,176 77.7%	299,487 78.8%	318,653 80.3%	309,174 81.2%	302,909 81.0%	327,215 79.9%	356,892 79.2%	358,639 77.9%	330,434 79.2%	386,087 78.1%	452,605 78.3%
	カナダ	10,927 2.9%	10,414 2.7%	10,690 2.7%	10,521 2.8%	10,393 2.8%	11,339 2.8%	14,034 3.1%	14,256 3.1%	11,139 2.7%	12,895 2.6%	15,442 2.7%
	ベルギー	1,143 0.3%	1,106 0.3%	1,608 0.4%	1,552 0.4%	1,424 0.4%	2,003 0.5%	2,005 0.4%	1,446 0.3%	1,372 0.3%	1,227 0.2%	1,486 0.3%
	ドイツ	4,484 1.2%	3,712 1.0%	3,589 0.9%	3,606 0.9%	4,116 1.1%	6,976 1.7%	7,071 1.6%	7,094 1.5%	6,585 1.6%	7,427 1.5%	8,246 1.4%
	オランダ	1,914 0.5%	1,586 0.4%	2,251 0.6%	1,764 0.5%	1,568 0.4%	1,982 0.5%	2,653 0.6%	2,114 0.5%	2,040 0.5%	2,125 0.4%	2,041 0.4%
	イギリス	2,603 0.7%	1,434 0.4%	1,803 0.5%	1,944 0.5%	3,231 0.9%	2,264 0.6%	2,211 0.5%	2,818 0.6%	2,617 0.6%	2,992 0.6%	2,875 0.5%
	途上国	中国	5,721 1.5%	6,468 1.7%	5,952 1.5%	4,866 1.3%	5,397 1.4%	6,693 1.6%	7,380 1.6%	6,911 1.5%	7,788 1.9%	9,079 1.8%
コロンビア		5,592 1.5%	4,735 1.2%	4,733 1.2%	3,667 1.0%	3,064 0.8%	3,155 0.8%	3,540 0.8%	3,499 0.8%	2,573 0.6%	3,366 0.7%	3,607 0.6%
ブラジル		5,658 1.5%	5,383 1.4%	4,719 1.2%	3,784 1.0%	2,992 0.8%	3,616 0.9%	4,369 1.0%	4,254 0.9%	3,023 0.7%	3,473 0.7%	4,276 0.7%
チリ		2,252 0.6%	2,085 0.5%	2,146 0.5%	1,860 0.5%	1,741 0.5%	1,801 0.4%	2,059 0.5%	1,594 0.3%	1,315 0.3%	1,932 0.4%	1,721 0.3%
その他		37,900 10.2%	39,795 10.5%	36,118 9.1%	31,990 8.4%	30,844 8.2%	34,907 8.5%	40,890 9.1%	51,829 11.3%	41,044 9.8%	56,707 11.5%	67,134 11.6%

【参考】

ASEAN	1,637 0.4%	1,604 0.4%	1,382 0.3%	1,231 0.3%	2,115 0.6%	2,819 0.7%	2,188 0.5%	1,694 0.4%	1,593 0.4%	1,454 0.3%	2,245 0.4%
EU27	22,031 5.9%	19,491 5.1%	17,974 4.5%	15,807 4.2%	15,468 4.1%	20,446 5.0%	22,132 4.9%	17,375 3.8%	15,656 3.8%	16,451 3.3%	17,697 3.1%

(出所) UNCTAD Stat より作成

主な輸入相手国・地域（2022年）は、①米国（構成比：43.9%）、②中国（同19.6%）、③韓国（同3.7%）、④ドイツ（同3.1%）、⑤日本（同3.0%）となっている。2022年以降、上位5カ国の顔ぶれに変わりはなく、これらの国々で全体の7割以上を占めている。中国をはじめとするアジア諸国の台頭もあり、日本からの輸入の構成比は低下傾向にある。特に、ASEAN諸国からの輸入は2012年から2022年にかけて+3.2%と増加している。

図表 3-13 主要輸入相手国・地域

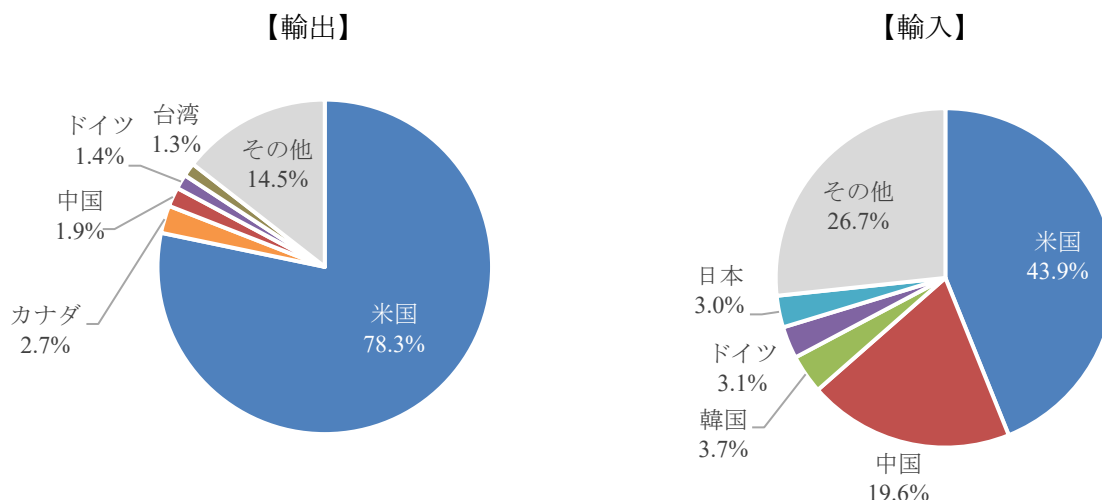
(単位：100万ドル)		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
輸入		370,751	381,210	399,984	395,254	387,087	420,395	464,294	455,236	382,980	506,565	604,615
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
先進国	日本	17,655	17,076	17,545	17,369	17,752	18,186	18,189	17,956	13,893	17,079	18,289
		4.8%	4.5%	4.4%	4.4%	4.6%	4.3%	3.9%	3.9%	3.6%	3.4%	3.0%
	韓国	13,341	13,493	13,771	14,618	13,611	15,756	16,725	17,644	14,706	18,963	22,429
		3.6%	3.5%	3.4%	3.7%	3.5%	3.7%	3.6%	3.9%	3.8%	3.7%	3.7%
	台湾	6,183	6,689	6,368	6,631	6,837	7,442	8,269	9,309	8,761	11,777	14,947
		1.7%	1.8%	1.6%	1.7%	1.8%	1.8%	1.8%	2.0%	2.3%	2.3%	2.5%
	米国	185,684	187,758	195,856	187,308	179,918	194,978	216,270	206,134	168,197	221,312	265,424
		50.1%	49.3%	49.0%	47.4%	46.5%	46.4%	46.6%	45.3%	43.9%	43.7%	43.9%
	カナダ	9,890	9,847	10,045	9,948	9,632	9,766	10,752	9,825	8,318	11,224	13,174
	2.7%	2.6%	2.5%	2.5%	2.5%	2.3%	2.3%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%	
イタリア	5,462	5,621	5,212	5,060	5,288	6,160	6,608	6,095	4,836	6,102	7,775	
	1.5%	1.5%	1.3%	1.3%	1.4%	1.5%	1.4%	1.3%	1.3%	1.2%	1.3%	
ドイツ	13,508	13,461	13,762	13,976	13,879	16,422	17,762	17,680	13,871	17,214	18,447	
	3.6%	3.5%	3.4%	3.5%	3.6%	3.9%	3.8%	3.9%	3.6%	3.4%	3.1%	
スペイン	4,081	4,311	4,753	4,553	4,456	5,004	5,518	4,574	3,760	4,580	5,638	
	1.1%	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%	
途上国	中国	56,936	61,321	66,257	69,992	69,525	74,150	83,510	83,031	73,506	101,021	118,694
		15.4%	16.1%	16.6%	17.7%	18.0%	17.6%	18.0%	18.2%	19.2%	19.9%	19.6%
	マレーシア	4,736	5,379	6,560	7,462	8,160	7,887	9,390	11,584	10,822	12,391	14,555
		1.3%	1.4%	1.6%	1.9%	2.1%	1.9%	2.0%	2.5%	2.8%	2.4%	2.4%
	タイ	3,806	4,322	4,342	4,955	5,426	5,931	6,360	6,074	5,303	6,491	7,961
	1.0%	1.1%	1.1%	1.3%	1.4%	1.4%	1.4%	1.3%	1.4%	1.3%	1.3%	
ブラジル	4,495	4,421	4,470	4,621	4,732	5,440	6,508	6,639	5,634	8,718	11,966	
	1.2%	1.2%	1.1%	1.2%	1.2%	1.3%	1.4%	1.5%	1.5%	1.7%	2.0%	
その他	44,975	47,511	51,043	48,762	47,873	53,270	58,435	58,691	51,372	69,693	85,314	
	12.1%	12.5%	12.8%	12.3%	12.4%	12.7%	12.6%	12.9%	13.4%	13.8%	14.1%	

【参考】

ASEAN	13,735	15,468	17,539	20,870	22,552	23,842	26,464	30,510	28,988	34,932	42,009
	3.7%	4.1%	4.4%	5.3%	5.8%	5.7%	5.7%	6.7%	7.6%	6.9%	6.9%
EU27	38,572	40,587	41,905	41,306	40,155	46,360	50,441	48,756	39,962	49,880	58,148
	11.0%	11.3%	11.1%	11.1%	11.0%	11.6%	11.4%	10.7%	10.4%	9.8%	9.6%

(出所) UNCTAD Stat より作成

図表 3-14 輸出相手国・地域と輸入相手国・地域の構成（2022年）



(出所) UNCTAD Stat より作成

図表 3-15 は、メキシコの貿易額の大きい国や地域（ASEAN、EU27 等）との貿易収支の関係を示している。メキシコは、米国（1,872 億ドル）に対して大きく輸出超過（貿易黒字）であり、中国（▲1,079 億ドル）、韓国（▲187 億ドル）、マレーシア（▲143 億ドル）、日本（▲139 億ドル）等に対しては輸入超過（貿易赤字）であることが分かる。

図表 3-15 国別の貿易収支の推移

(単位：100 万ドル/暦年)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
貿易収支	-45	-1,261	-3,094	-14,698	-13,134	-10,998	-13,611	5,368	34,002	-11,970	-26,333	
先進国	日本	-15,045	-14,857	-14,940	-14,356	-13,984	-14,161	-14,337	-14,018	-10,270	-13,102	-13,936
	韓国	-11,614	-11,968	-11,746	-11,804	-11,106	-12,335	-12,998	-15,432	-11,276	-15,655	-18,737
	台湾	-5,812	-6,202	-5,979	-6,371	-6,599	-7,022	-6,509	-2,709	-4,438	-4,287	-7,565
	米国	102,493	111,728	122,796	121,866	122,991	132,237	140,622	152,505	162,236	164,775	187,181
	カナダ	1,037	567	645	573	761	1,572	3,282	4,432	2,821	1,671	2,268
	ベルギー	159	115	683	492	355	821	837	218	437	-85	-67
	ドイツ	-9,023	-9,749	-10,174	-10,369	-9,763	-9,446	-10,691	-10,586	-7,286	-9,787	-10,202
	イタリア	-4,163	-4,372	-3,651	-3,775	-4,087	-4,966	-4,899	-4,588	-3,782	-5,198	-6,949
	オランダ	-1,648	-2,617	-1,432	-1,489	-453	-405	201	-39	8	-482	-1,831
	イギリス	211	-1,074	-710	-399	1,106	-163	-207	430	806	902	435
スペイン	2,994	2,651	1,033	-1,258	-1,191	-769	-852	-3,186	-2,525	-3,154	-3,863	
途上国	中国	-51,215	-54,853	-60,306	-65,125	-64,127	-67,457	-76,130	-76,120	-65,718	-91,942	-107,889
	マレーシア	-4,533	-5,203	-6,365	-7,340	-7,712	-7,176	-9,149	-11,462	-10,374	-11,680	-14,315
	タイ	-3,399	-3,897	-3,981	-4,632	-4,929	-5,372	-5,987	-5,751	-4,806	-5,932	-7,588
	コロンビア	4,715	3,823	3,801	2,746	1,967	1,483	1,770	1,843	1,609	1,985	1,577
	ブラジル	1,163	962	249	-837	-1,740	-1,824	-2,139	-2,385	-2,611	-5,245	-7,690
	チリ	749	646	749	399	406	264	392	49	21	-72	-397
	その他	-7,113	-6,963	-13,768	-13,017	-15,029	-16,279	-16,818	-7,833	-10,849	-14,683	-16,765

【参考】

ASEAN	-12,098	-13,864	-16,157	-19,639	-20,437	-21,023	-24,276	-28,816	-27,395	-33,478	-39,763
EU27	-16,541	-21,097	-23,931	-25,498	-24,687	-25,914	-28,308	-31,382	-24,306	-33,429	-40,450

(出所) UNCTAD Stat より作成

4. USMCA の中のメキシコ

(1) USMCA の中で経済規模が最も小さい国であるメキシコ

1989年に米国とカナダの間で自由貿易協定が発効された後、1992年にメキシコが加わり、商品やサービスの取引に対する貿易障壁を撤廃し、国境を越えた取引を促進すること等を目的として NAFTA が誕生したが、新たな枠組みとして 2020年7月には米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)が発効された。

統計によると、2022年の米国、メキシコ、カナダ3カ国の総人口は約5億人、名目GDPは約28兆ドルである。(図表3-16)。また、メキシコは、1人あたりGDPで見た所得水準、名目GDPで見た経済規模ともに域内3位である。

図表 3-16 USMCA 諸国の比較表 (2022年)

	人口 (万人)	面積 (1,000km ²)	名目GDP (億ドル)	1人あたりGDP (ドル)
メキシコ	12,750 (2)	1,964 (3)	12,728 (3)	11,091 (3)
米国	33,328 (1)	9,833 (2)	254,645 (1)	76,399 (1)
カナダ	3,892 (3)	9,985 (1)	21,398 (2)	54,966 (2)
【参考】				
日本	12,512	378	42,311	33,815
中国	142,175	9,600	179,632	12,720
インド	141,717	3,287	33,851	2,389
EU27	44,795	3,996	166,414	37,150
ASEAN10	67,944	4,409	29,715	4,543

(注) 括弧内はランキング

(出所) UNCTAD Stat、IMF、国際連合資料より作成

(2) USMCA 域内での貿易額の変化

USMCA 域内での貿易額は増加傾向にある。2022年の域内向け輸出総額は1兆6,120億ドルと、2012年(1兆1,511億ドル)の1.4倍となった。

メキシコは、この間に域内向け輸出額を2,991億ドルから4,680億ドルへ1,689億ドル増加させている(図表を縦方向に合計)。一方、各国からのメキシコ向け輸出(図表を横方向に合計)は同期間で2,213億ドルから3,313億ドルへ1,100億ドル増加させた。つまり、メキシコは、過去10年で域内からの輸出先となる以上に、域内への輸出を増加させたことになる。

図表 3-17 USMCA 諸国間の貿易額の変化（2012 年→2022 年）

(単位：100 万ドル)		輸出元国			
輸出先国	年	メキシコ	米国	カナダ	USMCA
メキシコ	12		215,875	5,391	221,266
	22		324,378	6,933	331,311
	Diff		108,503	1,542	110,045
米国	12	288,176		338,260	626,436
	22	452,605		457,788	910,393
	Diff	164,429		119,528	283,957
カナダ	12	10,927	292,567		303,494
	22	15,442	354,887		370,329
	Diff	4,515	62,320		66,835
USMCA	12	299,103	508,442	343,651	1,151,196
	22	468,047	679,265	464,721	1,612,033
	Diff	168,944	170,823	121,070	460,837
輸出増-輸入増		58,899	-113,134	54,235	

(出所) UNCTAD Stat より作成

(3) 賃金コストで比較したメキシコの位置付け

次の図表は、ジェトロの投資コスト比較調査（2022 年 11 月～2023 年 1 月）を基に、製造業、非製造業別に月間基本給や残業代、賞与等の実質月額給与等を表している。

賃金単価は総じて 1 人あたり GDP で表される所得水準と関連性が高いが、メキシコの賃金単価は 1 人あたり GDP で同国の 4 倍～5 倍の水準にあるカナダと比較すると、製造業のワーカーレベルで 5 倍～8 倍の差が生じていることが窺える。

米国と比較しても同様であり、例えば、製造業で見るとメキシコ（メキシコシティ）の賃金単価は、米国（シカゴ）の「ワーカー」のそれに比べて約 11%の単価水準であるが、「エンジニア」の賃金単価は約 24%、「中間管理職」の賃金単価が約 68%と割高感が見られる。

図表 3-18 USMCA 諸国の都市の賃金コスト等の比較

(単位：米ドル)

国名 1人あたり GDP	都市名	製造業			非製造業	
		ワーカー	エンジニア	中間管理職	スタッフ (営業職)	マネージャー
カナダ 46,192 ドル	トロント	2,774	4,417	5,848	2,610	5,268
	バンクーバー	2,938	4,435	5,929	2,041	4,442
米国 62,625 ドル	アトランタ	3,393	7,327	9,881	3,892	10,404
	サンフランシスコ	4,443	9,729	12,970	5,335	13,898
	シカゴ	3,693	7,523	10,433	4,004	10,748
	ナッシュビル	3,587	6,943	9,288	3,563	9,847
	ニューヨーク	3,938	8,222	12,255	5,372	13,918
	ヒューストン	3,983	8,783	11,340	3,768	10,282
	ロサンゼルス	3,615	8,519	9,713	4,162	11,320
メキシコ 9,695 ドル	アグアスカリエンテス	351	1,412	3,237	1,072	2,914
	イラプアト	395	1,335	3,454	1,062	3,108
	ケレタロ	480	1,969	5,083	866	4,575
	サン・ルイス・ポトシ	357	1,588	1,742	918	1,568
	ティファナ	590	1,866	4,021	1,072	3,619
	メキシコシティ	406	1,804	7,119	1,619	6,407
	モンテレイ	434	1,969	3,351	806	3,016

(注) カナダの都市は基本給、奨励金(歩合給、チップ等)含み、米国の都市は基本給、生活費手当、保証給料、危険職務手当、奨励金(歩合制/出来高制ボーナス等)を含み、メキシコの都市は基本給のみ。

(出所) UNCTAD Stat、ジェトロ資料より作成